

令和8年度大分市学力向上アクションプラン

大分市教育委員会

1 基本的な考え方

本市では、「確かな学力の定着・向上」「豊かな人間性と社会性の育成」「健やかな心身の育成」をバランスよく推進し、主体的、創造的に生き抜くこどもの育成を目指した教育の創造に努めています。とりわけ、「確かな学力の向上」は、本市教育委員会において重要な課題であり、各種学力調査で明らかになった課題の解決に向け、実施教科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等、学校の教育活動全体を通して取り組むことが必要です。

こうしたことから、学校、家庭、地域社会が一体となった取組を推進するため、国、県、市主催の調査結果（※）を併せて一つの資料として掲載し、本市のこどもたちの学力の状況を明らかにするとともに、従来からの本市の学力向上に関する取組や、調査結果の分析を踏まえた今後の改善方策等を示した学力向上アクションプランを作成しました。

また、文章中の小学校には義務教育学校の前期課程を、中学校には後期課程を含むものとしております。

2 本市の学力等の状況【令和7年度】

（1）各種学力調査の結果

○全国学力・学習状況調査 <市内全小中学校が対象>

実施学年	小学校 第6学年			中学校 第3学年		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
大分市平均正答率	70	62	61	53	45	501
全国平均正答率	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503
全国との差※	+	+	+	-	-	-

※全国学力・学習状況調査については、各県や市の正答率は整数値で、全国平均正答率は小数第1位までの値で公表のため、実際の数値における全国との差を+で表記。

※中学校理科については、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で換算。（IRTスコア）

○大分県学力定着状況調査 <市内全小中学校が対象>

実施学年	小学校 第5学年						中学校 第2学年									
	国語		算数		理科		国語		社会		数学		理科		英語	
実施教科	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
大分市偏差値平均	51.0	51.2	51.5	51.5	51.6	50.8	51.8	51.0	51.5	50.9	51.0	50.4	52.5	52.0	50.6	49.7
全国との差	+1.0	+1.2	+1.5	+1.5	+1.6	+0.8	+1.8	+1.0	+1.5	+0.9	+1.0	+0.4	+2.5	+2.0	+0.6	-0.3

※大分市標準学力調査及び大分県学力定着状況調査については、全国平均を偏差値50とし、全国との差を、+で表記。

○大分市標準学力調査 <市内全小中学校が対象>

実施学年	小学校 第4学年						中学校 第1学年									
	国語		算数		理科		国語		社会		数学		理科		英語	
実施教科	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
大分市偏差値平均	49.8	49.8	51.7	50.8	51.1	50.9	50.2	50.4	49.9	49.2	50.9	49.2	49.5	50.6	49.9	51.5
全国との差	-0.2	-0.2	+1.7	+0.8	+1.1	+0.9	+0.2	+0.4	-0.1	-0.8	+0.9	-0.8	-0.5	+0.6	-0.1	+1.5

(2) 全体概要

各種学力調査の結果から、学年や教科によって若干の差はあるものの、本市の児童生徒の学力は概ね全国平均以上と考えられる。

- ＜小学校＞
- 4年 算数（基礎）、算数（活用）、理科（基礎）、理科（活用）において全国を上回っている。
国語（基礎）、国語（活用）においては全国を下回っている。
 - 5年 国語（知識）、国語（活用）、算数（知識）、算数（活用）、理科（知識）、理科（活用）の全てにおいて全国を上回っている。
 - 6年 国語、算数、理科の全てにおいて全国を上回っている。
- ＜中学校＞
- 1年 国語（基礎）、国語（活用）、数学（基礎）、理科（活用）、英語（活用）において全国を上回っている。
社会（基礎）、社会（活用）、数学（活用）、理科（基礎）、英語（基礎）においては全国を下回っている。
 - 2年 国語（知識）、国語（活用）、社会（知識）、社会（活用）、数学（知識）、数学（活用）、理科（知識）、理科（活用）、英語（知識）において全国を上回っている。
英語（活用）においては全国を下回っている。
 - 3年 国語、数学、理科の全てにおいて全国を下回っている。

(3) 各学年における教科、領域別等の傾向 ※偏差値又は平均正答率との比較

学年	教科、領域別等の傾向	
小4	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を下回っている。 ○領域別では、「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」において全国を上回っている。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」においては、全国を下回っている。 ○観点別では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに全国を下回っている。 ○小問別では、「理由や事例を挙げて話すことや話し手が伝えたいことの中心を捉えること」などにおいて課題が見られる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の全てにおいて全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。 ○小問別では、「概数の問題において、四捨五入の仕方や上から2ケタの概数の表し方についての理解」などにおいて課題が見られる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「物質・エネルギー」「生命・地球」ともに全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。 ○小問別では、「消火じゅうから水が勢よく出る理由について考える問題では、空気と水の性質に触れて説明すること」などにおいて課題が見られる。
小5	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。 ○小問別では、「相手や目的を意識して伝えたいことを明確にすることや考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くこと」などにおいて課題が見られる。

小5	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」全てにおいて全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに全国を上回っている。 ○小問別では、「1組の三角定規を組み合わせてできる角の大きさの求め方について、言葉や式等を用いて説明すること」などにおいて課題が見られる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「物質・エネルギー」「生命・地球」とともに全国を上回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに全国を上回っている。 ○小問別では、「金属の温まり方について、自分の予想が正しい場合に、実験の結果がどのような見通しをもつこと」などにおいて課題が見られる。
小6	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均正答率を上回っている。 ○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「目的に応じて必要な情報を見付けること」などにおいて課題が見られる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均正答率を上回っている。 ○領域別では、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「目的に応じて条件に合った適切なグラフを選択して、問題解決の方法を数学的に筋道を立てて説明すること」などにおいて課題が見られる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均正答率を上回っている。 ○領域別では、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」全てにおいて全国を上回っている。 ○小問別では、「植物の育ち方について、調べてみたいことをもとに、新たな問題を見付けて、表現すること」などにおいて課題が見られる。
中1	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。 ○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」において全国平均を上回っている。「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」においては、全国を下回っている。 ○観点別では、「思考・判断・表現」において全国を上回っている。「知識・技能」においては、全国を下回っている。 ○小問別では、「他者からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと」などにおいて課題が見られる。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を下回っている。 ○領域別では、「地理」「歴史」において、ともに全国を下回っている。 ○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」において全国を下回っている。 ○小問別では、「東南アジアの経済発展について、複数の資料をもとに考察し、表現すること」などにおいて課題が見られる。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎」に関する問題は全国を上回っているが、「活用」に関する問題は全国を下回っている。 ○領域別では、「数と式」「図形」において全国を上回っている。「関数」においては、全国を下回っている。 ○観点別では、「知識・技能」において全国を上回っている。「思考・判断・表現」においては、全国を下回っている。 ○小問別では「グラフを読み取り、問題を解決する方法を数学的に説明すること」などにおいて課題が見られる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○「活用」に関する問題は全国を上回っているが、「基礎」に関する問題は全国を下回っている。 ○領域別では、「エネルギー」「生命」において全国を上回っている。「粒子」においては、全国を下回っている。 ○観点別では、「思考・判断・表現」において全国を上回っている。「知識・技能」においては、全国を下回っている。 ○小問別では「水溶液の再結晶で取り出される結晶の質量を比較する問題において、温度と溶解度を関係付けながら質量を算出すること」などにおいて課題が見られる。

	英語	<p>○「活用」に関する問題は全国を上回っているが、「基礎」に関する問題は全国を下回っている。</p> <p>○領域別では、「読むこと」「書くこと」において全国を上回っている。「聞くこと」においては、全国を下回っている。</p> <p>○観点別では、「思考・判断・表現」において全国を上回っている。「知識・技能」においては、全国を下回っている。</p> <p>○小問別では、「対話から必要な情報を聞き取り、資料をもとに英語で答えること」などにおいて課題が見られる。</p>
中 2	国語	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて全国を上回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。</p> <p>○小問別では、「段落の役割などを意識して文章の構成を考へることや考へるの根拠を明確にして相手に伝わる文章を書くこと」などにおいて課題が見られる。</p>
	社会	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「地理」「歴史」ともに全国を上回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。</p> <p>○小問別では、「中世における日本と中国の貿易について、資料をもとに考察し、表現すること」などにおいて課題が見られる。</p>
	数学	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」全てにおいて全国を上回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。</p> <p>○小問別では「関数の式の特徴を根拠として、事柄が成り立つ理由を説明すること」などにおいて課題が見られる。</p>
	理科	<p>○「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題は、ともに全国を上回っている。</p> <p>○領域別では、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」全てにおいて全国を上回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。</p> <p>○小問別では、「地層の構成物から過去の環境を推定する問題において、地層の構成物と流れる水の働きとを関連付けること」などにおいて課題が見られる。</p>
	英語	<p>○「知識」に関する問題は全国を上回っているが、「活用」に関する問題は全国を下回っている。</p> <p>○領域別では、「読むこと」「書くこと」において全国を上回っている。「聞くこと」においては、全国を下回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国を上回っている。</p> <p>○小問別では、「英文を聞き、その要点を捉えて自分の考へを書くこと」などにおいて課題が見られる。</p>
中 3	国語	<p>○全国平均正答率を下回っている。</p> <p>○領域別では、「書くこと」において全国を上回っている。「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」においては、全国を下回っている。</p> <p>○小問別では、「文章の構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開にしたのか、考へをもつこと」などにおいて課題が見られる。</p>
	数学	<p>○全国平均正答率を下回っている。</p> <p>○領域別では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」全てにおいて全国を下回っている。</p> <p>○小問別では、「日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて論理的に説明すること」などにおいて課題が見られる。</p>
	理科	<p>○全国平均正答率を下回っている。</p> <p>○小問別では、「探究の過程の振り返りを記述する問題において、他者の振り返りの視点を参考に自身の探究の過程を振り返ること」などにおいて課題が見られる。</p>

(4) 生活習慣や学習環境に関する調査結果の分析

【学習習慣等】

学習習慣等については、家庭学習をするときに、自分で計画を立てて取り組んでいる児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を上回っている。また、1日当たり（月曜日から金曜日）の家庭学習時間についても、小中学生ともに全国平均よりも長くなっている。

今後においては、授業内容の復習を家庭学習の課題に位置付けるなど、授業と家庭学習の連動を通して、確かな学力の定着・向上を図る必要がある。

【授業改善等】

授業改善等については、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒の割合は、小中学校ともに全国を上回っている。また、小学校において、学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている児童の割合についても、86.0%と全国平均を1.1ポイント上回っている。一方、中学校において、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文書、話の組み立てなどを工夫して発表した生徒の割合は51.1%と全国平均を11.9ポイント下回っている。

今後は、質の高い授業の創造に向け、児童生徒から問題意識を引き出し、必然的に追究したくなるめあてや課題を設定するなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める必要がある。

【基本的な生活習慣、社会に対する興味・関心】

基本的な生活習慣については、規則正しい生活を送っている児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を上回っている。社会に対する興味・関心について、地域や社会をよくするために何かしてみたいと考える児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を上回っている。

今後も、学校、家庭、地域社会が一層連携・協力して、児童生徒の基本的な生活習慣の確立や社会に対する興味・関心を高める教育活動の充実に努める必要がある。

【自尊感情、規範意識等】

自尊感情、規範意識については、自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を上回っている。また、いじめはどんな理由があってもいけないことだと考える児童生徒の割合についても、小中学校ともに全国平均を上回っている。

今後も、学校、家庭、地域社会の連携を図りつつ、道徳教育に係る学校や学年ごとの重点目標の明確化、教材の充実、体験活動の推進等、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間性や社会性を育む道徳教育の一層の充実に努める必要がある。

【校種間連携】

校種間連携については、学力調査の分析結果をもとに、近隣の小中学校と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を実施している学校の割合は、全国平均を大幅に上回っており、小中一貫教育の取組が充実している。今後とも、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行う小中一貫教育の一層の推進を図るとともに、教育課程の趣旨や目指す子ども像について保護者懇談会や学校運営協議会等において家庭や地域と共有し、学校や地域の

実情を踏まえた特色ある教育課程となるよう見直し、改善するなど、より一層「社会に開かれた教育課程」の実現に努めることが必要である。

3 目標

大分市標準学力調査、大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査において、全ての実施教科の結果が、全国平均以上。

4 具体的な学力の定着・向上の取組

(1) 小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通した系統的な教育を行うことにより、「確かな学力の定着・向上」「豊かな人間性と社会性の育成」「健やかな心身の育成」をバランスよく推進し、生きる力を育成する。

- ① 市内全小中学校において学校、地域の実情に応じた小中一貫教育を推進する。
 - 学校や地域の特色を生かし、9年間を見通した系統的な教育課程の編成、実施、改善
 - 児童生徒の心身の発達の変化や生徒指導上の諸課題、学力形成の特質の違い等による小中の段差(いわゆる中1ギャップ)の軽減を図るため、中学校区における教職員間における情報共有等の取組の充実
 - 小中合同授業研究会等を通じた組織的な授業改善
- ② 小中一貫教育実践発表校等において研究の推進及び成果の還元を行う。
 - 実践発表校
2年次：大分西・南大分中学校区
3年次：上野ヶ丘・明野中学校区
※令和7年度までに全中学校区を指定したため1年次なし
 - 大分市小中一貫教育校 賀来小中学校、神崎小中学校
 - 義務教育学校 碩田学園

(2) 大分っ子基礎学力アップ推進事業

- ① 基礎学力向上研究推進校
基礎学力向上研究推進校（2年間指定、小学校4校、中学校2校）を指定し、こどもの実態を的確に把握し、教科指導等における実践的・実証的な研究を進める。その研究成果は、公開研究発表会等を通し、他の小中学校の指導内容・方法の改善に生かす。
【令和8年度 研究推進校：春日町小学校 横瀬西小学校 野津原中学校 日岡小学校 大在東小学校 植田南中学校】
- ② 標準学力調査の実施
標準化された学力調査を実施し、こどもの学力の状況を客観的に把握・分析することにより、各学校における継続的な指導の工夫改善に生かす。

◆令和8年度大分市標準学力調査（予定）

校種	実施学年	実施教科
小学校	4	国語、算数、理科
中学校	1	国語、社会、数学、理科、英語

さらに、県主催（小5：国語・算数・理科、中2：国語・社会・数学・理科・英語）と国主催（小6：国語・算数、中3：国語・数学・英語）の学力調査結果も活用することにより、小学校第4学年から中学校第3学年までの国語、算数（数学）、理科等の各教科について、こども

の学年進行に応じた多面的な実態把握及び継続的な指導を行う。

③ 分析シートの作成及び活用

各種学力調査における本市の教科別の偏差値や平均正答率等の結果、分析・考察、授業アイデア例などをまとめた分析シートを作成し、各学校の学力向上会議や教科部会等における活用を通して、確かな学力の定着・向上を図る指導の充実・改善に生かす。

(3) 大分っ子学習力向上推進事業

① 個別指導や習熟度別指導を行う非常勤講師を配置する。

○小学校13校（13名）に配置（算数科、国語科等の指導及び補充指導等）

② 小学校の複式学級において、学年別や課題別の指導を行う非常勤講師を配置する。

○複式学級を有する小規模校4校（8名）に配置

※①、②について、計21名を配置

(4) 「大分市授業力向上ハンドブック」等の活用

「大分市授業力向上ハンドブック」等を校内研修等で活用し、確かな学力の定着・向上を図る。

(5) 英語教育の充実

① 小学校外国語科単元計画案、実践事例集等を活用し、小学校外国語科・外国語活動の指導の充実を図る。

② 「生徒の英語力（中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上）」向上に向け、各種学力調査における結果等を踏まえ、中学校外国語科の指導の充実を図る。

③ ALT、ICTを効果的に活用し、英語による言語活動の充実を図る。

④ 互見授業、「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標の小中学校間での共有等、小中学校の連携した取組の工夫により英語教育の充実を図る。

(6) 大分市教育センターにおける各種研修の充実

① ミドルリーダー研修、中堅教諭等資質向上研修等を通し、中核となる教員を育成する。

② 主幹教諭研修、研究主任研修等を通し、分掌担当者としての資質能力の向上を図る。

③ 経年等研修、教科等研修等を通し、教員の授業力の向上を図る。

(7) 学校図書館の活用等による読書活動の推進

① 司書教諭、図書館担当者研修等の充実を図る。

○司書教諭研修、図書館担当者研修、学校図書館支援員研修会を実施する。

○図書館教育推進校において研究の推進及び成果の還元を行う。

【令和8年度2年次推進校：東植田小学校 鶴崎中学校】

② 市内全小中学校に、司書教諭等の業務を支援する学校図書館支援員を配置する。

(8) 生き生き学習サポート事業

こどもの学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力を育むため、専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する外部人材の活用を支援し、学校・家庭・地域社会が一体となった多様な学習活動を展開する。

(9) 管理職、教務主任等を中心とした校内指導体制の充実

管理職等を中心とした校内の指導体制の充実を図り、教員の授業力の向上、校内研修の充実等に努める。

- ① 管理職等による授業観察及び指導
- ② 授業公開、互見授業による授業力の向上
- ③ 各種学力調査結果の分析・考察に基づく学力向上プランの作成及び学力向上会議の実施
- ④ 指導主事の派遣による校内研修の充実

(10) 教科指導マイスター派遣事業

経験豊富で実績のある退職教職員を「教科マイスター」として各中学校等に派遣し、教科指導に関する指導・助言を行い、教員の授業力を向上させることにより、生徒の学力の定着・向上を図る。

【令和8年度：国語科3名 社会科2名 数学科3名 理科2名 英語科3名】

(11) 放課後等を活用した補充指導及び個別指導の充実

補充指導や個別指導の充実に努め、基礎的・基本的な内容の定着に努める。

(12) 積極的な学校公開及び情報提供

地域とともにある学校づくりを推進する上から、各学校の実態に応じて自由参観日やオープンスクール等を積極的に行うとともに、学校便りや学校ホームページ等を通じて教育活動の様子などの情報提供・発信に努める。

5 豊かな人間性と社会性の育成

家庭、地域社会との連携強化を図り、道徳科を要として、学校の教育活動全体を通じて豊かな人間性や社会性を育む道徳教育を推進する。

(1) 指導主事の派遣による道徳科の授業研究

市内全小中学校等に指導主事を派遣し、授業研究等の校内研修を実施する。

(2) 「大分市道徳指導ハンドブック」(改訂版)の活用

「大分市道徳指導ハンドブック」(改訂版)を活用し、心に響く魅力ある道徳科の授業実践を行う。

(3) 保護者、地域住民への道徳科の授業の公開

「おおいた教育の日」の取組の一環として、道徳科の授業を公開することにより、家庭、地域社会と連携し、こどもの道徳性の育成に努める。

6 各種学力調査の実施予定教科

<各種学力調査>

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| ○全国学力・学習状況調査 | 小6：国語・算数 | 中3：国語・数学・英語 |
| ○大分県学力定着状況調査 | 小5：国語・算数・理科 | 中2：国語・社会・数学・理科・英語 |
| ○大分市標準学力調査 | 小4：国語・算数・理科 | 中1：国語・社会・数学・理科・英語 |